



アクサルタ、フィラデルフィアのネイビーヤードに世界最大のコーティング/カラー研究開発センターを開設

2018年11月7日フィラデルフィア発-液体塗料と粉体塗料の大手グローバルサプライヤーであるアクサルタ(NYSE: AXTA)本日、世界最大のコーティング研究開発(R&D)センターとなるグローバルイノベーションセンターの正式開所を記念して、テープカット式典を行いました。このグローバルイノベーションセンターの床面積は16,000平方メートル以上であり、世界最高水準の専門研究設備とオフィススペースを備えています。フィラデルフィアの歴史的に有名なネイビーヤードに位置し、フィラデルフィアはもちろん、世界中のアクサルタの従業員、ビジネスパートナー、お客様との連携を実現します。

アクサルタの暫定最高経営責任者、ロバート・ブライアントは次のように述べています。「アクサルタのグローバルイノベーションセンターは、当社のグローバルなリサーチ、製品開発、テクノロジーイニシアチブの中心的存在となって、世界で最も革新的なコーティング製品を開発し、実現します。カラーテクノロジー、ポリマー化学や配合技術、アプリケーション知識のどれをとっても、アクサルタのグローバルイノベーションセンターが擁する世界最高の能力と人材が、新製品の開発を推進し、お客様の今後の事業成長に必要なソリューションを提供します」

本日の式典には、アクサルタのブライアント暫定CEOやバリー・スナイダー最高技術責任者をはじめ、フィラデルフィア市長のジム・ケニー、市会議員のケニヤッタ・ジョンソン、PIDC社長のジョン・グラディ、リバティ・プロパティ・トラストのシニアバイスプレジデント兼リージョナル・ディレクター、ジョン・ガットウーズが招待され、アクサルタの従業員も出席しました。ペンシルベニア州知事のトム・ウルフも祝辞を寄せ、フィラデルフィア、グレンミルズ、エクストンで現在提供されている雇用に加え、グローバルイノベーションセンターで現在および将来に計画されている雇用によるペンシルベニア州へのアクサルタの経済的貢献を歓迎しました。

フィラデルフィアのケニー市長は次のように述べています。「フィラデルフィアは、米国を建国した革新的精神で知られています。この精神は、フィラデルフィアを本拠地として事業の成長を目指している無数の企業に現在も息づいています。5年前、アクサルタは、グローバル拠点を市の中心部に移転して、フィラデル

フィアへのコミットメントを示してくれました。本日グローバルイノベーションセンターが開所したことで、高度な技術を要する新規の雇用をフィラデルフィアにもたらしてくれます。フィラデルフィア地域に対するアクサルタの貢献に感謝するとともに、アクサルタがネイビーヤードで今後も発展を続けられますようお願いいたします」

ネイビーヤード区域は、新しい人材を魅了する職場環境が整えられている上に、アクサルタの施設は、研究者を念頭に置いて建設され、チームワークや創造性を育む様々なスペースを屋内外に備えた学術的環境を形成しています。

アクサルタのバリー・スナイダー最高技術責任者は次のように述べています。「アクサルタのグローバルイノベーションセンターに勤務する科学者と技術者のチームは、次世代のコーティング製品を開発し、新たに出現する用途のニーズに対応します。規制やお客様の要求によって、さらに技術的に進化した新たなコーティング製品が求められています。燃料節減のために車両には軽量のプラスチックや複合材料がますます使用されるようになり、新しい塗料配合技術が必要とされています。このようなニーズおよびその他のニーズを満たす製品の開発は、グローバルイノベーションセンターとアクサルタが網羅する世界中の研究開発ネットワークの使命です」

PIDC の社長、ジョン・グラディは次のように説明しています。「ネイビーヤードには、最新式の戦艦や一般商船の設計ならびに建造から、がん治療薬、電気マイクログリッド、省エネビル、そして現在では世界中の製品で使用されるコーティングやカラーテクノロジーなどのイノベーションに取り組む現代の最先端企業に至るまで、長年にわたるイノベーションの歴史が刻まれています。本日ネイビーヤードで当社のパートナーと共に、アクサルタのグローバルイノベーションセンターのテープカット式典に出席できたことを光栄に思い、今後も、このイノベーションの伝統を継続したいと考えています」

この建物は、リバティ・プロパティ/シンテラが所有開発し、エルディ・マクヘンリーが設計を担当しました。ネイビーヤードに見られる設計要素を融合しています。建物の前面は、ネイビーヤードに隣接する歴史地区に保存されている古典的設計を意匠化した建物を連想させます。一方、建物の後面は近隣のロフトや倉庫に似ています。また、建物の前面は2階までガラスのファサードで覆われ、自然光を最大限に取り入れながら、ガラスを傾斜させて光のまぶしさを緩和することで、従業員が西日に当たらないように設計されています。

リバティ・プロパティ・トラストのシニアバイスプレジデント兼リージョナル・ディレクターのジョン・ガットウーズは、「本日は、この画期的な建物と、アクサ



ルタと当社の強力なパートナーシップを祝福したいと思います。アクサルタは、初めてのグローバルイノベーションセンターの設計と開発という重要な任務を当社に任せてくれました。重要な研究開発機能のハブとして、建物の細部に至るまで、そこで働く人や訪れる人を刺激し、意欲を引き出すように配慮されています。アクサルタは、ネイビーヤードでそれぞれの分野で最先端を行く多くの企業に囲まれ、キャンパスのような協調的環境からも恩恵を受けるでしょう」と語りました。

午前中のテープカット式典は、デラウェア州ニューキャッスルに本拠を置くサービウム・ガールズ・アカデミーの合唱団による国歌斉唱で始まりました。アクサルタは、STEM 教育に対する取り組みの一環としてサービウムと連携しています。この取り組みでは、その他にも、フィラデルフィア・イーグルスとのアクサルタ・オールプロ教員プログラム、フランクリン・インスティテュートとのフィラデルフィア・サイエンス・フェスティバルなど様々なプログラムを支援し、フィラデルフィア大都市圏、北米、その他世界中の地域で STEM 教育者や学生を表彰するプログラムを実施しています。

テープカット式典の後、アクサルタは、100 人以上の招待客を施設のツアーに招き、グローバルイノベーションセンターを初めて公開しました。アクサルタのグローバルイノベーションセンターの詳細については、Axalta.com をご覧ください。

アクサルタコーティングシステムズ について

アクサルタは塗料に特化し、革新的、カラフルで、美しく持続可能なソリューションをお客様に提供する、世界をリードするグローバルカンパニーです。自動車 OEM、商用車両、補修用アプリケーションから、電気モーター、ビル、パイプラインまで、私たちのコーティングは腐食防止、生産性の向上、コーティングした材料の長期品質保持に役立ちます。塗料業界で 150 年以上の歴史を持つアクサルタは、14,000 人の従業員が世界 130 か国の 10 万人以上のお客様のために、最高のコーティング、アプリケーションシステムとテクノロジーを提供するために日々、尽力し続けています。詳しい情報は、www.axalta.com/jp と youtube [アクサルタコーティングシステムズ](#) をご覧ください。